

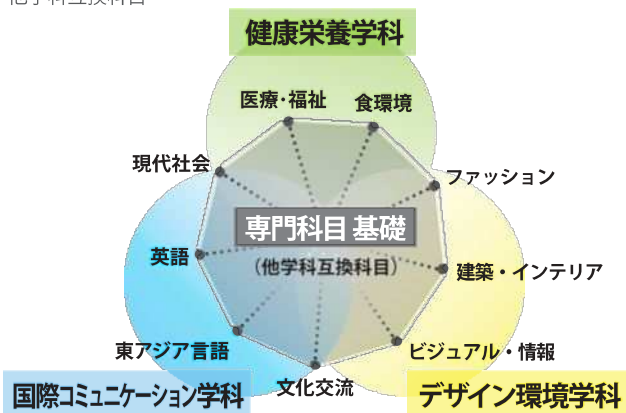
学科再編の特徴

- 岐阜学関連
- 国際コミュニケーション学科
- 健康栄養学科
- 全学科共通教育
- デザイン環境学科

	全学科共通教育の目指すもの	岐阜学	情報教育 (新設テーマ)
【教育プログラム キーワード】	<ul style="list-style-type: none"> 岐阜学：専門性を社会へ結びつけるため、地元をテーマとした科目 / 課題を通し、幅広い知識と技術の習得を目指す。 現代教養：情報基礎(情報リテラシー、データサイエンス基礎)、自国文化、コミュニケーション能力の習得を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ●岐阜学入門 ●課題創造演習 ●地域貢献演習 ●卒業研究(岐阜学) 	<ul style="list-style-type: none"> ●情報リテラシー ●データサイエンス基礎
【目標】	<p>国際コミュニケーション学科</p> <p>地域社会に根ざした実践教育を通じて英語・中国語・韓国語などを用いた国際的コミュニケーション能力を伸ばす。様々な文化的背景を持つ人々と協働して、地域の魅力を高め、より良い地域・社会を作っていく際に中心的な役割を果たすことのできる人材の輩出を目指す。</p>	<p>【専門教育での取り組み例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ソーシャルインクルージョン論 ●日本語教授理論 ●地域研究概論 ●岐阜の地域産業 ●異文化コミュニケーション 	<p>【進路イメージ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●一般企業(総務・営業) ●官公庁(国際関連部署) ●地元グローバル企業 ●多文化共生コミュニケーター ●観光サービス関連企業(国内外) など
地域に存在するグローバルな問題の解決	<p>(現) 英語英文 × 国際文化 + グローバル教育 + 地域での協働活動</p>		
人生100年時代におけるQOLの向上	<p>健康栄養学科</p> <p>従来の栄養教育に加え、運動・心身分野を拡充し、健康づくりのための3要素「栄養」「運動」「休養」について包括的に学ぶことで、老若男女を問わず個人または集団に対して、栄養の指導などができる人材の輩出を目指す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●食品加工学 ●栄養指導論 ●調理学 ●調理学実習 ●栄養士特論 ●食品加工学実習 	<ul style="list-style-type: none"> ●運動/身体生体情報 ●栄養価計算 ●応用栄養を活用した統計分析
持続可能なものづくりの思考から実践へ	<p>デザイン環境学科</p> <p>持続可能な社会の実現のため「自然環境との共生」「素材から取り組む本物志向」「人々を動かす力の向上」を軸に、持続可能な「ものづくり」を習得し、また、地域産業への理解を深め、実践的取り組みへと繋ぎ、支えることを目指す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●デザイン概論 ●サステナブルデザイン論 ●地域産業論 ●地域・環境デザイン論 	<ul style="list-style-type: none"> ●市場評価 ●環境影響評価 ●UXユーザ評価 ●デジタルによるものづくりと感性評価
	<p>(現) 生活デザイン + 自然環境共生 + 本物志向 + 情報発信力の向上</p>		

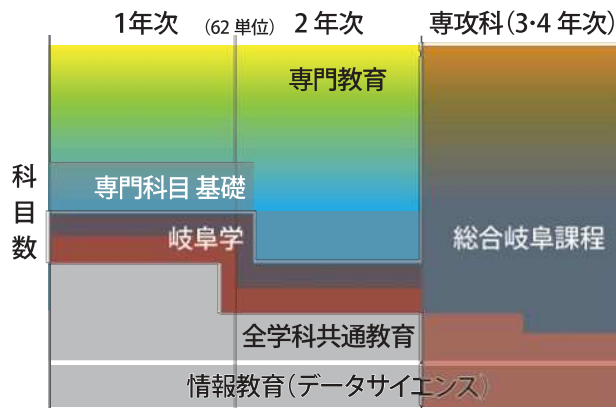
○新設

【専門科目 基礎】 他学科互換科目



- 各学科で開講される【専門科目 基礎】を他学科学生も受講可能とし、学内におけるシナジー効果や異文化アジリティ(異なる文化的背景を持つ人々とうまく協働する基本姿勢)を養うことを目指す。
- 他分野の専門を、広義における「教養」とすることで学びの幅を広げ、学生ひとりひとりの学びにあったカリキュラムを構成できる。(狭義における教養科目は別に設ける)

【学年別教育内容の配分イメージ】



- 岐阜学、および、情報教育(データサイエンス)は、全学科共通教育にて導入科目を実施後、その知識やスキルにベースに各学科における専門的な研究や取り組みへと繋げる。

各学科における領域とカリキュラム案 1

国際コミュニケーション学科

現代社会 領域: 地域企業・自治体と連携した実習や演習・海外研修を行い、理論と実践の有機的な連携を図ることで、グローバルな視点を養いながら、地域の特性を学ぶ。これによって、地域の持続的な発展を実現できる知識と実行力を有した人材を育てる。

■卒業後の進路イメージ：地元グローバル企業、一般企業（総務・営業）、官公庁（国際関連部署）、観光関連企業（国内外）

文化交流 領域: 様々な国・地域の価値観や文化を広く学ぶことで、これからの国際社会・地域社会で活躍できる複眼的な視点・価値観を尊重する力を身につける。これによって、多様化・複雑化する社会で文化を超えたコミュニケーションを推進できる人材を育てる。

■卒業後の進路イメージ：観光関連企業（国内外）、官公庁（国際関連部署）、地元グローバル企業、一般企業（総務・営業）

英語 領域: 世界共通語とされる英語の実践的なコミュニケーション能力を高めるとともに、現代社会や様々な文化について学ぶことで、地域・国際社会で活躍できる英語力を身に付ける。これによって、様々な文化的背景を持つ地域の人々とグローバルな視点を持って協働し、地域の発展や問題に対し貢献できる人材を育てる。

■卒業後の進路イメージ：観光関連企業（国内外）、地元グローバル企業、官公庁（国際関連部署）、一般企業（総務・営業）

東アジア言語 領域: 隣国であり人的往来が最も多い中国や韓国の言語を学び、地域企業・自治体と連携し実践的なコミュニケーション能力を高めるとともに、現代社会や様々な文化について学ぶ。これによって地域の観光・ビジネス・在日外国人支援などの分野で活躍できる人材を育てる。

■卒業後の進路イメージ：観光関連企業（国内外）、地元グローバル企業、官公庁（国際関連部署）、一般企業（総務・営業）

カリキュラム / 開講予定科目（未定稿）

専門科目 基礎 (他学科受講可能科目)	専門科目 (領域共通)	専門科目 (現代社会)	専門科目 (文化交流)	専門科目 (英語)	専門科目 (東アジア言語)
国際関係概論	岐阜の地域産業	現代企業事情	英米文化論	英語科目群	中国語科目群
地域研究概論	サステナビリティ学	国際人権論	アジア文化論	英米文学講読	韓国語科目群
文化研究概論	異文化コミュニケーション論	社会調査論	ヨーロッパの言語と社会	英語学概論	中国圏の文化と社会
ソーシャルインクルージョン論	データサイエンス概論	産業地理学	現代中国論	外国語プレゼンテーション	韓国・朝鮮の宗教と社会
グローバリゼーション論	海外研修 (英語圏・中国語圏・韓国)	地域経済論	現代韓国論	第二言語習得理論	日本文学論
ジェンダー論	産業人材海外研修 (東南アジア)	比較宗教学	比較文化論	英語コミュニケーション論	日本語教育学概論
英語表現 (基礎)	英語表現 (応用)	観光概論	国際日本文化論	言語文化論	東アジア概論

岐阜学関連科目 赤：新設科目 (科目は主たる科目のみ記載)

各学科における領域とカリキュラム案 2

健康栄養学科

医療・福祉 領域：少子・超高齢社会の現代において高齢化の進展に伴い、生活習慣病者や要介護者が増加し、同時に国民医療費が増大している。こうした問題の解決に寄与する栄養士を養成する。また、医学・栄養学の分野について深く学び、医療・福祉の専門職にふさわしい高度な知識と技術を身につけ、病院・福祉施設などの現場で栄養改善、疾病の治療に貢献できる栄養士の養成を目指す。

■卒業後の進路イメージ：給食会社（メディカル給食部門）・医療機関・介護施設・福祉施設・ドラッグストア

食環境 領域：食に関連する多彩な地域活動を通して実践力を養い、健康長寿社会を支える栄養士を養成する。健康と食をつなぐ食品について幅広く学び、地域の食環境を活かした食の力で地域住民の健康寿命の延伸、生活の質（QOL）の向上に寄与し、幸せな健康長寿社会の実現に貢献できる栄養士の養成を目指す。

■卒業後の進路イメージ：食品メーカー（企画・開発・品質管理）・医薬品メーカー（研究開発）・給食会社（学校給食・オフィス・工場の社員食堂部門）・給食センター・幼稚園・保育所

カリキュラム / 開講予定科目（未定稿）

専門科目 基礎 (他学科受講可能科目)	専門科目 (領域共通)	専門科目 (領域共通)	専門科目 (医療・福祉)	専門科目 (食環境)
女性の健康科学	栄養士演習	公衆栄養学概論	ライフステージ栄養学Ⅱ	食品機能学
地域食文化論	身体の科学	栄養士特論	メンタルヘルス	食品品質管理論
ライフステージ栄養学Ⅰ	運動生理学	調理学	病理学	食品流通論
カウンセリング論	運動科学演習	調理学実習		
食品加工学	ライフステージ栄養学実習Ⅰ	基礎実験化学		
	食品学	食品微生物学		
	食品加工実習	※栄養士養成施設の教科 課程に準ずる科目		
	栄養指導論			

岐阜学関連科目 赤：新設科目（科目は主たる科目のみ記載）

デザイン環境学科

ファッション 領域：高品質な素材縫製技術による「本物志向」のファッション教育を通して使い捨てをしないファッション文化の実現を目標に、地元ファッション産業と連携しながら素材・製造・販売までの実践的なファッション教育を行い、持続可能な社会に貢献する人材を育成する。

■卒業後の進路イメージ：繊維検査機関、テキスタイルデザイナー、ファッションアドバイザー、製造関連企業（企画等）、SDGsに取り組む企業

建築・インテリア 領域：自然環境との共生を再認識し、産官学連携による実践的な地域活動に積極的に取り組む中で、持続性のある建築・地域づくりに貢献できる人材を育成する。

■卒業後の進路イメージ：設計・建築士（リノベーション）、インテリア家具デザイナー、不動産（ストック活用）、伝統工芸関連

ヴィジュアル・情報 領域：ビジュアルコミュニケーションを効果的に学修するため、従来の視覚情報について学ぶとともに、現代社会に適した情報科学を学び、創造的な取り組みを通し社会に貢献できる人材を育成する。

■卒業後の進路イメージ：グラフィックデザイナー、Webデザイナー、インターネット・携帯コンテンツ（アプリ）開発企業、一般企業（企画等）

カリキュラム / 開講予定科目（未定稿）

専門科目 基礎 (他学科受講可能科目)	専門科目 (領域共通)	専門科目 (ファッション)	専門科目 (建築・インテリア)	専門科目 (ビジュアル・情報)
デザイン概論	基礎造形	ファッション造形演習科目群	設計演習科目群	グラフィックデザイン科目群
色彩学	情報科学概論	ファッション造形実践演習	設計演習Ⅲ（建築環境共生）	コミュニケーションデザイン論
材料学	地域産業論	ファッションビジネス論	バイオクライマティックデザイン	DTP演習
サステナブルデザイン論	地域産業計画演習	ファッションマーケティング	日本建築史	Webデザイン
ファッションデザイン論	地域・環境デザイン論	ブランドマーチャンダイジング	建築環境学	パッケージデザイン
建築・インテリア概論	生活造形演習	染色デザイン演習	公共施設計画論	認知情報処理
メディアデザイン論	生活環境学	テキスタイル素材演習	建築材料学	ビジュアルリテラシー
		テキスタイル創造演習	構造力学	ビジュアルデータサイエンス

岐阜学関連科目 赤：新設科目（科目は主たる科目のみ記載）